

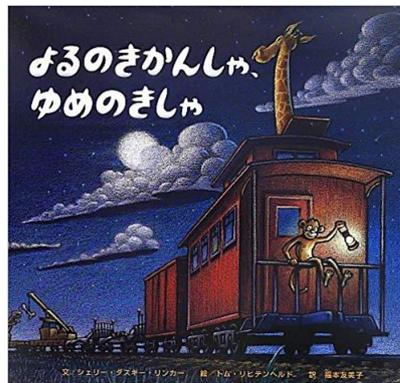
おはなしだより 9月

<年長>

よるのきかんしゃ ゆめのきかんしゃ

文 : シェリー・ダスキー・リンカー
絵 : トム・リヒテンヘルド
訳 : 福本 友美子
出版社 : ひさかたチャイルド

よぞらにきてきをひびかせて、じょうききかんしゃがやってきた。えきについたらどうぶつたちはおおいそがし。いろんなにもつをつみこむよ。れいぞうしゃにはアイスクリーム。タンクしゃにはペンキ。しゃうんしゃにはレーシングカー。ぜんぶつんだらきょうのしごとはもうおしまい。みんなそろってよこになり、あしたのあさまでいいゆめみよう。



わかりますとも！

作・絵 : 五味 太郎
出版社 : クレヨンハウス

「おっ！」と思いついたら、あれこれ考えるより先に、まずはチャレンジ！そんなおさるさんのやることなすこと、まわりのみんなからは「よくわかりません」と言われてしまいますが……。

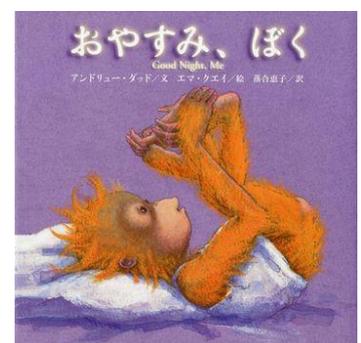
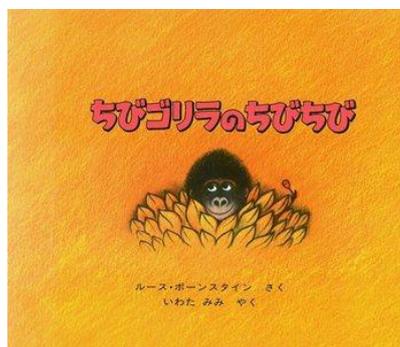
<年中>

ちびゴリラのちびちび

作・絵 : ルース・ボーンスタイン
訳 : 岩田 みみ
出版社 : ほるぷ出版

ジャングルの中、みんな、小さなゴリラのちびちびが大好きです。お母さんも、お父さんも、おばあさんも、おじいさんも。家族だけでなく、ピンクのちょう、緑のおおむ、赤いさるも、あのでっかいへびだって、みんなちびちびが大好き、いつも一緒に遊んでくれました。

そんなある日、ちびちびが大きくなり始めました。どんどん、どんどん大きくなって、そして、素敵なことが起こります……。



おやすみ、ぼく

文 : アンドリュー・ダッド
絵 : エマ・クエイ
訳 : 落合 恵子
出版社 : クレヨンハウス

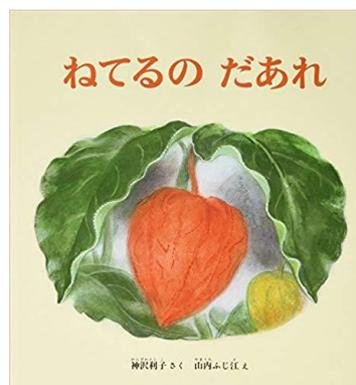
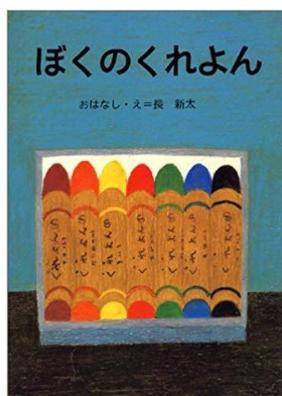
「おやすみ、ぼくのあしさん」オランウータンの子が、おなか、おしり、耳……と、自分のからだのあちこちに呼びかけながら眠りについていく、やさしい毛布のような絵本。

<年少>

ぼくのくれよん

作・絵 : 長 新太
出版社 : 講談社

こんなくれよんで、絵を描いてみたいな。ぞうのくれよんは、とても大きなくれよん。青で描いたら、カエルが池とまちがえてとびこんじゃった。でも、まだまだ描きたいんだ。今度は何色を使おうかな……!?



ねてるのだあれ

作 : 神沢 利子
絵 : 山内 ふじ江
出版社 : 福音館書店

ほおずき、らっかせい、そら豆、くり、みかん……。皮の中で寝ているのはだあれ？ 色々な植物の袋や殻や皮から実が顔を出します。穏やかな語りかけが心地よい絵本。